

教 科	数学	科 目	数学 I
履修学年	1 年	履修規定・週時間	3 時間
教 科 書	東京書籍 新数学 I	副 教 材	東京書籍 ニューファースト新数学 I
<p>1. 教科・科目の目標</p> <p>数と式・図形と計量・二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学の基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、生徒が今後出会う様々な問題の解決方法を、生徒が主体的に考え抜いて解決できるような、数学的思考力を習得し、数学のよさを認識できるようにする。</p>			
<p>2. 学習内容</p> <p>(1) 「数と式」</p> <p>数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>(2) 「二次関数」</p> <p>二次関数とそのグラフについて理解し、二次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。またグラフの x 軸との交点と二次方程式の解の関係を理解できるようにする。</p> <p>(3) 「図形と計量」</p> <p>三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。また、数学 II で学習する三角関数の理解につながるようにする。</p> <p>以上の(1)～(3)を学習することで、数学 I を体系的に理解する。</p>			
<p>3. 学習方法</p> <p>(1) 教科書を使って、数学の基本的な概念・定理・公式を理解し、基本事項の徹底的な理解と暗記をする。</p> <p>(2) プリントを使って、問題を解くことによって、基本定理・公式を様々な問題にあてはめられるようにする。</p> <p>(3) 副教材のニューファーストを使って、基本定理・基本公式の徹底的な理解と定着をする。</p>			
<p>4. 宿題</p> <p>(1) 必要に応じて、ニューファーストなどを宿題にして、家庭学習の習慣を身につける。</p> <p>(2) 夏休みには、1 学期の復習となるような、宿題をする。</p>			
<p>5. その他</p> <p>(1) マナトレという問題集を使って、整数の加減乗除という基本的な事項から学習することで、計算力を高め、数学 I の学習を容易にする。</p> <p>(2) 楽しく・積極的に学習する。</p>			